

科目担当者氏名		科目担当
(ふりがな)	おおたに しんすけ 大谷 信介	
連絡責任者氏名		科目設置機関名
(ふりがな)	みうら こうきちろう 三浦 耕吉郎	関西学院大学 社会学部
授業科目名	行日記入用号	受講者数
社会調査実習 I	KSGa-090710-0	20

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：ゼンリン住宅地図西宮市2007年版の巻末別記情報を基にして、西宮市のマンションデータベースを作成。西宮市都市局より入手した、分譲マンション情報をデータベースに加え精度をアップする。国勢調査の階数別共同住宅世帯数比率を使って、調査対象となるマンション居住者をサンプリングする。分譲・賃貸・公営・社宅別に調査対象者をサンプリングし、郵送・訪問・ポスティングによって調査を実施。回収した調査票を、コーディング・データ入力・データクリーニングの一連の過程を経て、SPSSデータとして完成させ。そのデータの解析作業と、さらなる聞き取り調査を実施し、マンション居住の社会学的研究を進めた。さらに結果を報告書としてまとめている。

II. 調査の企画・設計 (デザイン)

1. 調査のテーマ/領域：西宮市のアパートマンション居住に関する社会学的研究。西宮市民は2005年国勢調査のデータによれば、全体の62.2%が共同住宅に居住しており、一戸建てに住むのは34.2%にすぎない。都市的居住の象徴的存在でもある、共同住宅居住者を調査対象とし、その実態を調査によって明らかにすることが調査の大きな目的で
2. 調査の内容/概要：マンション居住者を母集団とした調査を実施するためには、これまでの公的名簿では不可能に近い。この調査では、ゼンリン住宅地図を使って、マンション居住者をサンプリングするという新しい調査手法の開発に挑んだ。
3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)：マンションデータベースで、西宮市には7,178棟のマンションが確認された。このマンションを国勢調査の階数別共同住宅比率を参考として、調査対象者とするマンション居住者をサンプリングした。
4. 主な調査項目：<住居選定要因><入居契機><住居の広さ・間取り><家族構成><勤め状況・職業><マンション内の人間関係><地域活動・余暇について><転居予想・定住意思><住居の家賃・購入価格><インターネット><内閣支持・選挙について><出身地><両親の居住地><フェイスシート>等

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集 (現地調査) の方法：冊子形式・はがき形式の2種類の調査票を使用して、実査は郵送法・調査趣旨を説明し調査協力を依頼する訪問法・ポストに直接投函するポスティング法の3パターンに分けた
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：西宮アパートマンション調査 2008年11月8日～12月25日、調査員の数:52名、西宮社宅追跡調査 2009年6月20-9月、西宮市営・兵庫県営住宅調査:2009年9月20日-11月。
7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)：全体 843/3755 (22.4%)、分譲 316/1300 (24.3%)、賃貸 284/1320 (21.5%)、公営176/856 (20.5%)、社宅67/279 (24.0%)。アパート調査:130/1381 (9.4%)

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析/解釈の方法：アパート・マンション調査によって得られたSPSSデータを、クロス集計等によって仮説検証を実施した。さらに、マンション居住の普遍化を目指して、西宮全体のマンションデータベースと比較した。さらに社宅データベースに関しては、1994年2000年の住宅地図を新たにデータベース化し、経年変化を分析した。
9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)：西宮市に立地する社宅の分析では、阪神大震災直前の1994年時点で 515あった社宅が、2000年に379、2007年には258と激減していることが明らかにされた。特に、金融関係では、都市銀行が、製造業では、中小企業で激減しているという事実。公務員住宅や、NTTやJRといった公的部門はほとんど変化していないという公務員天国実態が明らかにされた。
10. 報告書刊行の予定と概要：大谷信介編『西宮マンション居住に関する社会学的研究～西宮アパート・マンション調査報告書(2)』関西学院大学社会学部大谷研究室 2010年3月 (184p)

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。

2. 最上部の*印の箇所には数字を(*/*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通り)にして、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。